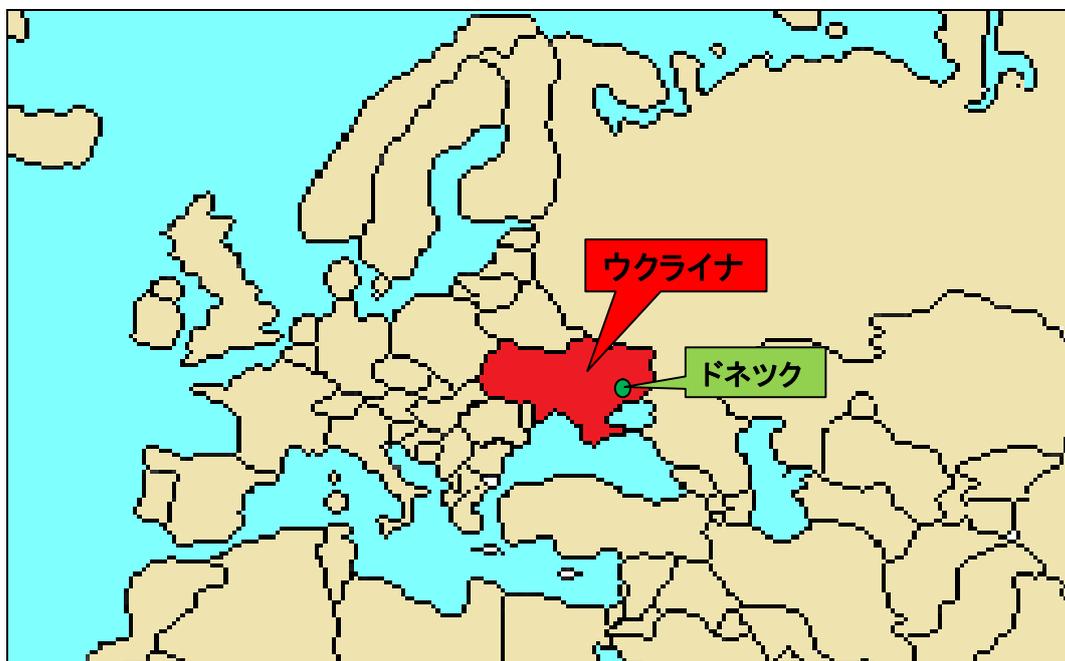


ウクライナでライム病が流行

2011年5月22日 ProMED 情報(0624.com.ua)



本年最初の4ヵ月間で、ウクライナのドネツク Donetsk でライム病患者10名が報告され、300名以上の人々がマダニにかまれました。残念ながら、人々はマダニにかまれた直後ではなくて、発症してから医療施設を受診しています。年々、ライム病患者は増加傾向にあります。2010年は190名の患者が発生しましたが、これは2009年に比べ10.5%の増加でした。

患者の大多数は、アルテムフスク Artemovsk、スラビャンスク Slavyansk、クラマトルスク Kramatorsk、ドネツク Donetsk、ゴルロフカ Gorlovka、マケエフカ Makeyevka で発生しました。

ライム病患者の増加の主な原因は、マダニ数の増加と生息域の拡大です。2010年にマダニにかまれた者は4,057名で、2009年に比べ20%の増加です。

〔ProMED 調整者〕

本年は、ゴルロフカで最も多くのライム病患者が発生しています。感染者のほとんどは都会の居住者で週末に田舎を訪れて、予防対策を行わない結果、マダニにかまれ感染しています。ライム病はウクライナのすべての管轄地域で増加傾向と報告されてきました。この地域ではマダニ *Ixodes ricinus* が、ボレリア *Borrelia burgdorferi* の主な媒介動物であることが判明しています。